

## 第六期長期計画市民会議（第1回）議事要録

■ 日 時 平成30年6月18日（月） 午後7時～

■ 場 所 武蔵野市役所 412会議室

### 1. 開会（午後7時）

### 2. 委嘱状交付

（松下市長より委員10名に委嘱状が交付された。）

### 3. 市長挨拶

【松下市長】 第1回会議開催にあたり、冒頭で10名の市民会議委員に委嘱状を交付した。皆様でしっかりとご議論をしていただきたい。

2020年度から始まる武蔵野市第六期長期計画は、今年から来年にかけて策定する。長期計画に書かれているかどうかが市政運営の中で非常に重要であり、特に第五期長期計画・調整計画に書かれていないさまざまな課題については、第六期長期計画の策定過程でしっかりと市民の皆様、議会、職員が議論していかなければならない。

日本全体としては、これから10年、20年を見据えると人口減少社会が進んでいくが、ここのところ武蔵野市は人口増加が続いている。そうした前提に立ったうえで課題の解決をしていかなければならないと思っている。ぜひ市民会議の皆様に活発にご議論いただき、報告をいただくのを楽しみにしている。

### 4. 委員自己紹介

【大上委員】 桜堤に住んでいる。市内の小学校に通う小学生の息子が1人いる。息子が生まれて、子どもが幼稚園に上がるときに境幼稚園のことがいろいろあり、境こども園、桜堤児童館、小学校での児童数の増加等、不思議なことに、行く先、行く先でいろんなことがあり、そういったことをきっかけに市政に関心を持つようになった。時間の許す限り市議会傍聴をしたり、コミセンでの勉強会に参加したりしている。子育て中の母親なので、力になれるような有用な意見をどれだけ述べられるかわからないが、できる限り資料もしっかり読んで参加してまいりたい。

【木川委員】 桜堤一丁目に住んでいる。15年ぐらい前に、武蔵野市の失語症の方の会話パートナー養成講座を受けたのがボランティアの始まり。失語症パートナーの会を立ち上げて、2年間会長をしたり、コミセンに誘われて、コミセンの役員、委員長を10年務めまして、今は老人クラブの会長をしている。いろいろな分野で、いろいろな年齢の方たちがかかわっているので、専門的な知識はないが、市民の目から見た感想が言えるかもしれないと思っている。

【北原委員】 通算20年吉祥寺に住んでいる。子どもが2人、長女は就職をしており、次女は大学3年生。普段、市政や市の活動等にはほとんど関わっていないが、数年前に平和宣言の委員や、男女共同推進参画の委員をさせていただき、勉強させていただいた。数年前に銀行を卒業し、今、系列のシンクタンクにいるが、特別、地方自治とか行政に詳しいわけではない。今まで特に民間企業の方との付き合いが多かったので、そんなところから一市民として自分なりの感想を皆さんに伝えしていくということ

が役割だと思っている。

【栗原委員】 境南町に住んでいる。精神科のリハビリの仕事をずっとやっている。武蔵野には約 20 年住んでいるが、今、武蔵野プレイスが建っているところに雑木林をつくろうという「雑木林にしたい会」というグループで市民活動に関わったのが、武蔵野市との最初の関わり。それから、第四期長期計画・調整計画のときに市民会議と、調整計画策定委員になったのが市政に関わる始まりだったと思う。武蔵野市にこれからも住み続けるつもりなので、自分が関心をもっている計画に関しては、中間報告の段階で読ませていただき、なるべく意見を言うようにしている。今回、短い時間で6分野について議論をするのは大変なことだが、せつかくの機会なので、私も資料を読んで意見交換にきちんと参加できればと思っている。

【小餅委員】 吉祥寺南町に住んでいる。「コミュニティ未来塾むさしの」に参加して、会を進める手法、様々なジャンルの方との出会いなど新しい体験ができたことは、最近一番勉強になった。私が地域に関わってきたのは、まず PTA、青少協、コミセン、今は福祉の会にも関わっている。そういう活動をする中で、行政の方とは一緒になっているいろいろな関わりがあった。武蔵野市のための計画策定に向けて、今まで私の中でいろいろ蓄えてきたことがお役に立てばと思い応募した。

【相良委員】 八幡町に住んでいる。2年ほど前まで仕事をしており、吉祥寺には約 40 年住んでいるが、現役時代はほとんど夜中遅く帰って寝るだけで、市政に全く関心がなかった。今回応募するきっかけになったのは、今年の春に、ある種の市民会議で、無作為抽出で指名いただき参加したこと。40 年強も住んでいながら全く市に関心がないという自分自身に気がついた。あわせて、市の方は市民のいろいろな意見を吸い上げて、それを生かそうとしていることを会議の中で強く感じた。民間企業において中長期計画立案に携わってきた。市の行政に携わっている方と違った目で、幾つかプラスアルファで付け加えることができることがあれば、自分自身としても参加する意義があると思う。経験のない話を聞きながら、私自身も成長するように参加させていただきたい。

【曾田委員】 吉祥寺北町に住んでいる。戦争真っ最中の昭和 18 年に第四小学校に入学した。その後、高蔵寺ニュータウンに 40 年間住んだ。高蔵寺ニュータウンは、全国に先駆けて、人口減少、少子高齢化で衰退の方向をたどっていき、それを何とかしなくてはいけないということで市民会議を立ち上げ 10 年頑張ったが、一昨年、40 年のブランクの後に吉祥寺に戻ってきた。今、武蔵野がどうなっているか、コミセンに顔を出して勉強をしたら、いろいろおもしろいことをやっているということで、今は緑の基本計画の市民委員にもなり、そこで長期計画をこれから策定することを知り、作文を書いた。まだ知らないことが多いので、いろいろ教えていただきながら議論をしたい。

【平野委員】 桜堤二丁目に住んでいる。1983 年に結婚し、当時の桜堤団地に入居して、以来住みついて 35 年になる。子どもが 3 人おり、保育園や学童の父母会に参加してきた。私もサラリーマンで土日と夜しか帰ってこない生活だったが、合間を縫って、子どもたちに関わりながら武蔵野市の市政に関心を持ってきた。2000 年に学童保育父母会の市連絡協議会責任者として、子どもプランの最初の「児童育成基本計画」の策定委員として参加した。2年前に 40 年以上勤めたサラリーマン生活をやめたので、長い間働いたサラリーマン時代の蓄積や、この間やってきた子どもたちの関係の市民活動、それか

ら、今は年金生活者なので、そういう立場からも市政、あるいは、高齢者や福祉の問題にも関わっていただけらと思う。

【松村委員】 武蔵野に53年、現在は中町に住んでいる。昭和41年に建った市内では2番目か3番目に古いマンションに住んでいる。今日、大阪で地震があったが、耐震診断をしたら工事をするのに2億円近くかかることがわかり、管理組合として悩んでいる。私は自営業なので、子どもの保育園からPTA、青少協、コミセン等をずっとやり、平成11年から15年までは武蔵野市議会議員をさせていただいた。その後、市の「事務事業・補助金見直し委員会」で行政に関わり、庁内の様々なことがさらによくわかるようになった。母が今、アルツハイマー症で週5、6日、デイサービスに通っている。そんなこともあり、自分も現場に立ってみようと思い、ヘルパー2級、1級、ケアマネの資格を取り、訪問介護事業所と居宅介護支援事業所を開業した。比較的行政の中のこともわかっているという気持ちもあるので、できるだけたくさん、良い武蔵野市にするために頑張って発言したい。

【和田委員】 境南町に住んでいる。武蔵野市に引っ越してきて3年ぐらい。武蔵野プレイスという素晴らしい施設があり、あの施設が市民の意見を相当取り入れてつくったものだとことを知り、まず感銘を受けた。武蔵野市に少しでも関わりをもちたいと思い、安曇野市市民交流ツアーに参加したり、ルーマニアのホストタウンイベントで第九コンサートに参加したりしている。今年度は情報公開委員をやっている。私自身は中小企業診断士をやっていて、若い方々と話をする機会があり、日本になかなか希望が持てないという意見をきくことがある。国は、選挙の票を意識するとか、支持率だとかの関連で、要は、人口分布の多いシニアへの政策が今まで多かった。最近は少し変わってきているが、やはり若者をもっと希望を持てる、もっと言えば、若者から落ちこぼれを出さないような政策が必要ではないか。先進的な自治体である武蔵野市において、長期計画を立てるとい話を伺い、国のモデルとなるような素晴らしい長期計画を、若者中心の計画を、立てていただきたいと思っている。

〔市長、退出〕

## 5. 事務局紹介

(名古屋総合政策部長以下7名の企画調整課職員の自己紹介)

## 6. 議 事

(配付資料の確認)

(会議の進め方について、企画調整課長の説明を受け、以下のとおり決定した。)

- ・議長等を設置せず、企画調整課長の進行のもと、委員間の討論を中心に進める。
- ・会議は公開とする。委員名をA委員、B委員・・・と表記し、会議録を作成・公開する。
- ・傍聴を認める。

〔傍聴者、入室〕

### (1) 趣旨説明

(企画調整課長が「武蔵野市第五期長期計画」の冊子に基づき以下の点を説明した。)

- ・第2章「長期計画策定方式」の1「武蔵野市方式の継承」、2「長期計画の役割・位置づ

け」について〈15ページ〉

- ・同3「計画期間と計画のローリング」について〈16ページ〉
- ・長期計画条例のうち第2条第4項（強い規範性を持っていること）、第5条（議決について）、第7条（他の計画との関係について）〈103ページ〉

（企画調整課長が資料4、5、6に基づき会議の趣旨を説明した。）

#### 説明に対する質疑応答

【C委員】 長期計画と個別計画との関係の兼ね合いについて。個別計画に矛盾する中身は長期計画には書けないのか。各個別計画の中身を全て理解しないと自由に発言できないのではないのか。

【企画調整課長】 長期計画は最上位計画になるので、基本的には、個別計画を踏まえて調整する位置づけとなるが、市民会議については制約がある場ではないと考えている。武蔵野市の将来像、それを実現するための大きな課題を市民感覚から出していただき、策定委員会で議論する材料として自由に発言してほしい。

【I委員】 市が実施する政策が全て長期計画に載っていて根拠がなければいけないという言い方を条例でしている。一方で、長期計画は実施すべき優先課題等を明確にした計画であるという言い方をしている。この意味合いが理解しがたい。また、10年間というスパンの長期計画のままでいいのか。実行計画（5年）と展望計画（5年）とつくることの意味は何か。今回の市民会議として、最終的に何をアウトプットするのか、どのレベルで出せばいいのか。

【企画調整課長】 長期計画における施策の体系は、優先的に実施すべき重点的な事業により構成され、市のすべての事業を網羅しているわけではないという意味で「網羅性が無い」という説明をした。一方、長期計画における高い規範性を担保するために長期計画条例では、急を要する場合を除き、「市が実施する政策は、すべて長期計画にその根拠が無くてはならない」と規定しているが、これは施策の体系に無い事業は実施しない、という意味ではなく、長期計画の本文を含めたとこからもその根拠を読み取ることができない場合には実施することができない、という意味である。そのため、長期計画の本文については、抽象度を上げて幅広く受け取ることができるような記載が多くなっている。10年のスパンについては、長期計画条例第2条第3項で10年を1期と定めている。策定委員会で10年が適切でないという意見が出た場合には、条例改正も含めて検討していくが、今のところは条例に基づいて実施していきたい。実行計画と展望計画については、5年間の財政計画のフレームをつくり、そこにおさまっていく事業をやっていくのが実行計画になる。5年以上になると税制の改正等で財政計画も裏づけが取りにくく、また、時期的な部分で後ろに回るものもあるので前半5年、後半5年という切り分けをしている。市民会議のアウトプットについては、市がめざすべき将来像や検討すべき課題について、市民としての感覚から討議をいただき、討議結果を報告書という形で市長に報告していただく。最終的に策定委員会にも報告し、そこでの議論の参考とする。また、市民会議の中から長期計画策定委員会の市民委員2名を選出する。

【G委員】 市民会議は策定委員会の前座、すなわち方向付けをする場という認識がある。理念やビジョンを中心に議論をする会議ということでよいか。資料4に、20年、30年先

を見通した計画と書かれてあるが、思い切って 50 年先の武蔵野市、すなわち孫の世代の武蔵野市がどうなりたいかというビジョンを加えたらどうか。

【企画調整課長】 大きな理念、ビジョン、それに対しての大きな意味での課題を市民会議のアウトプットとして出していただきたい。持続する自治体として、50 年間を見据えるのは難しいが、そのくらいのつもりで、次世代の武蔵野市民に残していく計画という形でお願いしたい。

【E委員】 武蔵野市民の中で、高齢者層が優遇されている。本当にそれがいいのか。高齢者層の恵まれ過ぎている部分を段階的に縮小して、その財源を子育て世代や若者にもっと向けるべきだと考える。武蔵野市民の年齢構成の変遷や財源の変遷、10 年先までどう投入しようとしているのか、データを提供してほしい。

【企画調整課長】 財政や年齢構成などの人口の状況については、次回の会議でご説明したい。

## (2) 会議運営について

(企画調整課長が資料 5 に基づき会議運営・策定委員の選出について説明した。)

### 説明に対する質疑応答

【A委員】 グループ討議は 5 人の中で合意をする必要があるのか。

【C委員】 ①から⑤までこま切れに話をすると、一回一回の話がぶつ切れになっていくような感じがする。①の概要説明は事務局からして、②③④⑤は中身をあわせて意見を出していったほうが話しやすいのではないかと。短い時間できちんと話をするのに市民会議サポーター 1 人で回すのはかなり難しいと思うので、できれば市民会議サポーターと事務局の 2 人がグループに入り、記録をとり、意見をまとめて発表していただけないか。

【企画調整課長】 短い時間で皆様に合意をいただくことは難しいと思っているが、様々な意見を踏まえて議論をしていただき、合意できる点などの整理が一定程度できればと考えている。記録は事務局で取りまとめることとし、発表については改めて検討させていただきたい。

【A委員】 分野に基づく概要説明は、次回の分を先にもらえると考える時間ができるので、可能な範囲でお願いしたい。

【企画調整課長】 まずは、調整計画の該当分野の記載にお目通しいただきたいが、関連の資料など、可能な限り事前にお送りしたい。

## (3) その他

企画調整課長が次回の日程説明及び事務連絡をした。

閉会 (午後 9 時 5 分)